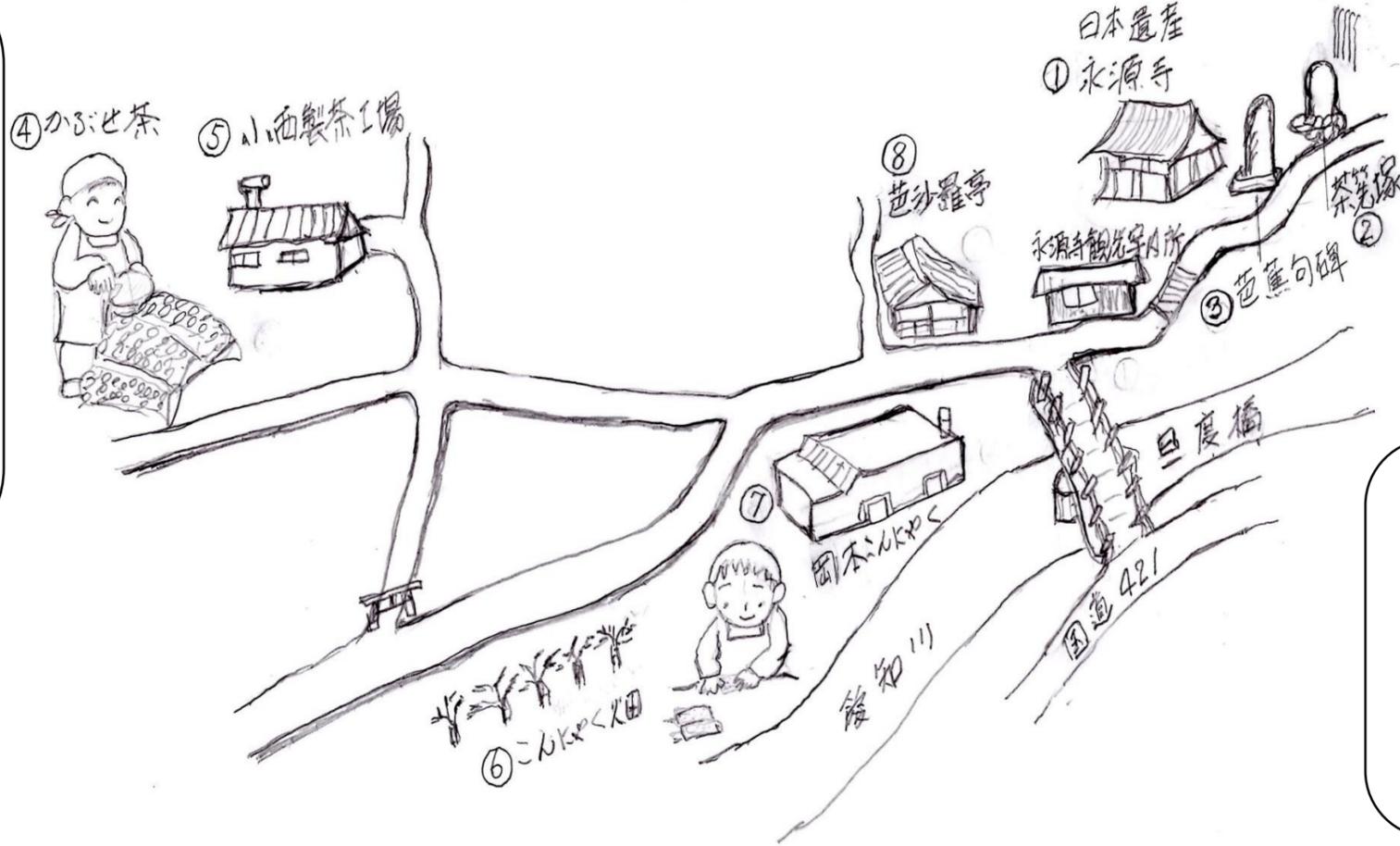




“え！お茶とこんにやくの里永源寺？”
まるごと体感!!

① 大本山永源寺
今から660年前、佐々木氏頼が寂室元光和尚を招聘し開山した臨済宗永源寺派の本山です。
山と川と寺が一体となり、春秋の紅葉は日本遺産にふさわしい情景です。日本一の葎茸の方丈（本堂）には安産、子宝、代々家が栄える世継ぎ観音が本尊で、多くの方が参拝されます。
永源寺第5世住持の越溪秀格禅師が室町時代に愛知川右岸に茶の植栽を始めたと伝えられています。



⑧ 芭沙羅亭
京都のお茶席を思わせる離れにて、喧騒を忘れ静かな時の流れを体験してください。

② 茶笥塚
お茶を立てる時に使う茶笥を供養して5月に各家元が来られお茶会が始まります。
一筋の滝の水を使ってお茶を立てられます。

⑦ 岡本こんにやく本舗
生芋をそのまま煮て糊状につぶし、手作業で仕上げます。粗めの生地で、歯切れもよく、味が良くしみ込みます。
岡本こんにやく社長より、こんにやく造りの話を聞きます。

③ 芭蕉句碑
こんにやくの刺身を詠んだ珍しい芭蕉の句碑があります。
紅白の梅の古木が咲き誇ります。

④ かぶせ茶摘み体験
摘み取る2週間前に直接覆いをし、風味を良くします。
むかし茶摘みを体験された方より指導を受け茶摘みの体験をしていただきます。

⑤ 小西製茶工場
先代から受け継いだ手法での製茶工場見学し、説明と摘んだお茶を製茶していただきます。購入も可能です。

⑥ こんにやく畑見学
おいでな高野が委託を受けて管理しているこんにやく畑を見ていただきます。
永源寺のこんにやくは永源寺の開祖である寂室元光が、南北朝時代頃に中国から種芋を持ち帰り永源寺で広めたといわれています。